



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月11日

上場会社名 SEMITEC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6626 URL http://www.semitec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 大助
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 須川 直輔 TEL 03 (3621) 1155
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	10,261	24.3	1,820	51.5	1,852	69.0	1,436	99.7
2021年3月期第2四半期	8,254	9.8	1,201	118.7	1,096	88.8	719	83.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,556百万円 (107.3%) 2021年3月期第2四半期 750百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	505.43	—
2021年3月期第2四半期	253.22	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	21,486	13,200	61.4	4,644.10
2021年3月期	19,882	11,757	59.1	4,136.37

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 13,200百万円 2021年3月期 11,757百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	11.9	3,000	8.0	3,010	9.4	2,095	8.8	737.03

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額になっております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	2,842,900株	2021年3月期	2,842,900株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	459株	2021年3月期	411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	2,842,469株	2021年3月期2Q	2,840,003株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会資料の入手方法について）

当社は、2022年3月期 第2四半期の決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）について、2021年11月30日（火）にオンラインでの開催を予定しております。なお、本説明会の資料につきましては、決算説明会終了後、当社ウェブサイト（<http://www.semitec.co.jp>）へ掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部で依然として厳しい状況ではありますが、ワクチン接種も進み、持ち直しの動きが見られております。しかしながら、半導体・樹脂等原材料の調達難及び価格高騰、コンテナ不足及び港湾混雑による物流状況は解消されておらず、不透明な状況は継続しております。

この状況下、当企業グループの業績については、半導体不足の中、旺盛な需要により自動車関連及び産業機器関連は、前年同四半期を大きく上回りました。医療関連では、前年同四半期の体温計特需は、落ち着いたことから医療関連全体では、前年同四半期を下回ったものの、血糖値測定器向け販売は前年同四半期を上回り、好調に推移した状況でありました。また、家電・住設関連は巣籠りのな需要が継続し、OA機器関連でも改善の状況でありました。利益面においても、一部部材・材料の調達遅れ、価格アップによる懸念がありましたが、各拠点間の連携を更に強める事により、柔軟な生産対応が図れ、生産効率化が実現できました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,261百万円（前年同四半期比24.3%増）、営業利益は1,820百万円（前年同四半期比51.5%増）、経常利益は1,852百万円（前年同四半期比69.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,436百万円（前年同四半期比99.7%増）となりました。

当社の業績は、計画に対しても好調に推移しておりますが、今後においても引き締めて対応してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

自動車関連、家電・住設及び産業機器関連を中心に、売上高は増加いたしました。利益面では、収益性の高い産業機器関連の販売や、内部販売の医療関連及び素子支給が増加したことにより、利益を大きく確保することができました。この結果、売上高3,129百万円（前年同四半期比30.7%増）、セグメント利益385百万円（前年同四半期はセグメント損失119百万円）となりました。

(中国)

前年同四半期における体温計特需が落ち着いたことで、医療関連の売上高は大幅な減少となってまいりましたが、産業機器関連、自動車及び家電・住設関連の売上高増加に加え、OA機器関連が復調したことで、前年同四半期を上回りました。しかしながら、利益面では、特需で高利益であった体温計関連の減少により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高3,773百万円（前年同四半期比18.1%増）、セグメント利益671百万円（前年同四半期比24.6%減）となりました。

(その他アジア)

自動車関連及び家電・住設関連、OA機器関連の売上高は、前年同四半期を上回りました。利益面では、前第2四半期連結累計期間におけるフィリピン工場のロックダウン規制による生産抑制は、当第2四半期連結累計期間では発生しておりませんが、ベトナム工場においては、当第2四半期会計期間にロックダウン規制による生産稼働停止が発生いたしました。これにより、韓国向け顧客の販売が一部遅れ、収益が確保できなかった事象はありましたが、セグメント全体としての販売・生産が大きく達成できたことから前年同四半期を上回りました。この結果、売上高2,134百万円（前年同四半期比26.1%増）、セグメント利益418百万円（前年同四半期比161.5%増）となりました。

(北米)

医療関連の売上高は順調に増加し、新規採用により自動車関連も増加したことで、前年同四半期を上回った結果、売上高1,224百万円（前年同四半期比25.8%増）、セグメント利益342百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

上記は各拠点の所在地を地域別に集計したものであります。

【用途別比較】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率
OA機器	1,458	1,761	303	20.7%
家電・住設	1,662	2,169	507	30.5%
自動車	2,036	2,932	896	44.0%
産業機器	962	1,496	534	55.5%
医療	1,537	1,073	▲ 464	▲ 30.1%
情報機器	180	203	23	12.7%
その他	419	627	208	49.6%
合計	8,254	10,261	2,007	24.3%

【販売先地域別比較】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率
中国	2,529	3,252	723	28.5%
日本	2,054	2,664	610	29.6%
韓国	1,101	1,321	220	19.9%
東南アジア他	974	1,189	215	22.0%
米国	971	1,222	251	25.8%
欧州	342	461	119	34.7%
台湾	283	152	▲ 131	▲ 46.2%
合計	8,254	10,261	2,007	24.3%

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末日における財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比べ、1,604百万円増加し、21,486百万円となりました。各資産・負債の主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,078百万円増加し、15,226百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品、商品及び製品の増加と受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ525百万円増加し、6,260百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ196百万円増加し、6,020百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加と未払法人税等の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ35百万円減少し、2,266百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少とリース債務及び繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ1,442百万円増加し、13,200百万円となりました。これは、主に利益剰余金と為替換算調整勘定の増加によるものであります。なお、自己資本比率は61.4%となり、1株当たり純資産額は、4,644円10銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、4,813百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、834百万円となりました（前年同四半期は、842百万円の収入）。これは主に税金等調整前四半期純利益1,852百万円、減価償却費453百万円の計上及び仕入債務の増加（115百万円）と棚卸資産の増加（△729百万円）、売上債権の増加（△431百万円）及び法人税等の支払額416百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、558百万円となりました（前年同四半期は、486百万円の支出）。これは主に固定資産の取得による支出635百万円と定期預金の払戻による純収入80百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、417百万円となりました（前年同四半期は、357百万円の支出）。これは主に長期借入金の返済による支出225百万円、配当金の支払額113百万円及びリース債務の返済による支出78百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、2021年8月12日の「2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,259,577	5,062,387
受取手形及び売掛金	3,655,515	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	3,929,136
電子記録債権	805,373	1,018,517
商品及び製品	2,052,343	2,427,443
仕掛品	819,525	791,288
原材料及び貯蔵品	981,082	1,404,831
その他	584,723	600,484
貸倒引当金	△10,430	△7,677
流動資産合計	14,147,711	15,226,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,134,869	4,195,538
減価償却累計額	△2,358,623	△2,410,673
建物及び構築物(純額)	1,776,245	1,784,864
機械装置及び運搬具	6,128,696	6,768,557
減価償却累計額	△4,663,178	△4,894,251
機械装置及び運搬具(純額)	1,465,517	1,874,305
土地	584,898	582,185
建設仮勘定	362,482	315,911
使用権資産	880,974	1,058,449
減価償却累計額	△255,201	△307,817
使用権資産(純額)	625,772	750,631
その他	1,219,139	1,243,118
減価償却累計額	△903,540	△937,201
その他(純額)	315,598	305,917
有形固定資産合計	5,130,515	5,613,815
無形固定資産		
ソフトウェア	50,755	43,411
その他	1,309	1,309
無形固定資産合計	52,064	44,721
投資その他の資産		
投資有価証券	164,778	170,686
繰延税金資産	62,196	103,682
その他	327,491	329,431
貸倒引当金	△2,031	△1,881
投資その他の資産合計	552,435	601,919
固定資産合計	5,735,015	6,260,456
資産合計	19,882,727	21,486,867

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,148,436	1,289,451
設備関係支払手形	86,540	10,807
電子記録債務	523,452	561,463
短期借入金	1,950,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	425,331	400,011
リース債務	157,795	164,734
未払法人税等	224,754	245,848
その他	1,306,810	1,397,735
流動負債合計	5,823,122	6,020,052
固定負債		
長期借入金	865,797	665,791
長期末払金	157,610	157,610
リース債務	565,671	703,049
繰延税金負債	452,802	491,208
退職給付に係る負債	248,720	235,909
その他	11,402	12,651
固定負債合計	2,302,004	2,266,220
負債合計	8,125,126	8,286,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	773,027	773,027
資本剰余金	653,495	653,495
利益剰余金	9,870,583	11,193,572
自己株式	△1,288	△1,558
株主資本合計	11,295,817	12,618,537
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	468,036	585,183
退職給付に係る調整累計額	△6,253	△3,126
その他の包括利益累計額合計	461,783	582,056
純資産合計	11,757,601	13,200,594
負債純資産合計	19,882,727	21,486,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,254,217	10,261,875
売上原価	4,989,761	6,249,206
売上総利益	3,264,455	4,012,669
販売費及び一般管理費		
給料	683,168	691,955
賞与	150,152	149,283
法定福利費	120,491	127,268
福利厚生費	33,300	36,528
退職給付費用	25,255	29,415
役員報酬	127,933	130,988
雑給	12,540	9,730
研究開発費	280,702	267,892
その他	629,176	748,946
販売費及び一般管理費合計	2,062,722	2,192,009
営業利益	1,201,733	1,820,660
営業外収益		
受取利息	2,489	13,374
受取配当金	-	3,084
為替差益	-	14,650
作業くず売却益	3,580	15,231
雑収入	21,754	16,790
営業外収益合計	27,825	63,130
営業外費用		
支払利息	25,654	26,528
為替差損	94,233	-
雑損失	13,492	4,636
営業外費用合計	133,381	31,164
経常利益	1,096,176	1,852,626
税金等調整前四半期純利益	1,096,176	1,852,626
法人税、住民税及び事業税	364,577	421,080
法人税等調整額	12,435	△5,143
法人税等合計	377,013	415,937
四半期純利益	719,163	1,436,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	719,163	1,436,688

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	719,163	1,436,688
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	27,567	117,146
退職給付に係る調整額	4,015	3,126
その他の包括利益合計	31,583	120,273
四半期包括利益	750,746	1,556,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	750,746	1,556,962

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,096,176	1,852,626
減価償却費	401,852	453,305
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,531	△2,663
受取利息及び受取配当金	△2,489	△16,458
支払利息	25,654	26,528
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17,720	△13,418
売上債権の増減額(△は増加)	△424,291	△431,551
棚卸資産の増減額(△は増加)	△251,945	△729,364
仕入債務の増減額(△は減少)	237,173	115,564
その他	80,839	5,840
小計	1,151,782	1,260,407
利息及び配当金の受取額	2,549	16,245
利息の支払額	△25,599	△25,864
法人税等の支払額	△286,252	△416,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	842,480	834,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△482,866	△635,855
定期預金の預入による支出	-	△80,762
定期預金の払戻による収入	-	161,004
その他	△3,369	△2,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△486,236	△558,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	1,950,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△1,950,000
長期借入金の返済による支出	△240,685	△225,325
リース債務の返済による支出	△71,209	△78,423
ストックオプションの行使による収入	11,100	-
自己株式の取得による支出	-	△269
配当金の支払額	△56,730	△113,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△357,525	△417,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,117	34,347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	836	△106,990
現金及び現金同等物の期首残高	4,416,387	4,920,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,417,223	4,813,034

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し義務を負っていない有償支給取引については、従来は、有償支給時点で、その支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該支給品に係る収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用にあたっては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、有償支給取引における収益は、売上原価で調整していることから、当第2四半期連結累計期間の売上高及び利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	2,394,383	3,194,214	1,692,561	973,057	8,254,217
セグメント間の内部売上高又は振替高	968,695	1,818,366	845,811	8,213	3,641,086
計	3,363,079	5,012,581	2,538,372	981,270	11,895,303
セグメント利益(△損失)	△119,410	890,618	159,983	290,653	1,221,845

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO.,LTD、石塚国際貿易(上海)有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、

石塚感応電子(韶関)有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子(深圳)有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO.,LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co.,Ltd、

SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO.,LTD.、SEMITEC ELECTRONICS INDIA PRIVATE LIMITED

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,221,845
セグメント間取引消去	28,197
棚卸資産の調整額	△49,302
その他	992
四半期連結損益計算書の営業利益	1,201,733

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	3,129,662	3,773,179	2,134,911	1,224,121	10,261,875
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,061,627	1,827,563	1,815,913	16,558	4,721,662
計	4,191,290	5,600,743	3,950,825	1,240,680	14,983,538
セグメント利益（△損失）	385,360	671,200	418,436	342,464	1,817,461

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO.,LTD、石塚国際貿易（上海）有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、石塚感応電子（韶関）有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子（深圳）有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO.,LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co.,Ltd、SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO.,LTD.、SEMITEC ELECTRONICS INDIA PRIVATE LIMITED

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,817,461
セグメント間取引消去	27,376
棚卸資産の調整額	△23,404
その他	△774
四半期連結損益計算書の営業利益	1,820,660

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。